

ほほえみ

発行：社会福祉法人
東御市社会福祉協議会
〒389-0502 東御市鞍掛197
☎0268-62-4455（代表）
<http://www.tomisyakyo.or.jp>
印刷：グリーン美術出版

～人とひとが福祉でつながるまちづくり～

地区別「地域福祉懇談会」



2月に市内5地区で開催した地域福祉懇談会の様子です。この懇談会では、社協事業等の説明のほか、各区の福祉活動について懇談・計画をいただく機会として毎年、開催しています。特に懇談の時間では、熱心に話し合いをいただき、福祉活動が地域ごとに協力し、取り組みをいただいているものだと改めて感じます。

🔑 内 容 🌸

- ★福祉運営委員長の紹介・福祉運営委員とは？
- ★令和2年度赤い羽根共同募金の報告
- ★ボランティアセンターかわら版

🔑 特 集 🌸

- ★コロナ禍だから伝えたい“市民の皆さんからのエピソード”
- ★フードサポートとうみの縁 フードポストの取り組み



令和3年 福祉運営委員長の皆さんです

支部（区）の福祉運営委員会は、日々の暮らしの中でおきている福祉問題を、住民が主体となって改善や解決に当たる組織です。今年も福祉運営委員長が中心になって活動します。福祉運営委員活動にご理解とご協力をお願いします。

※なお、名簿は令和3年3月1日現在のものです。4月1日に切り替わる支部（区）もありますのでご了承ください。（敬称略）

地区名	区 名	委員長名
田中	加 沢	堀内 峰子
	常 田	池田 関子
	田 中	佐藤 隆弘
	県	宮下 秀佳
	本 海 野	宮坂 可愛
	西 海 野	宮坂 隆男
	白 鳥 台	丸山 和夫
	城 ノ 前	篠原 洋治
滋野	赤 岩	柳沢 武良
	片 羽	土屋 一夫
	桜 井	笹井真希子
	大 石	別府 繁樹
	中 屋 敷	高見沢 潔
	別 府	阿部美奈子
	原 口	高藤 義徳
	聖	柳澤 正春
	乙 女 平	松尾 信江
	王 子 平	田中 直子
祢津	新 張	荒井 操
	出 場	花岡 幸江
	金 井	掛川 久夫
	新 屋	花岡 圭子
	東 町	坂口由美子

地区名	区 名	委員長名
祢津	西 宮	篠原 尚子
	姫 子 沢	船田 幸子
	滝 の 沢	若林 園生
	祢 津 南	土屋 和彦
	伊 勢 原	斎藤久美子
	奈 良 原	小原 万知
	鞍掛自治区	塚原 圭吾
	リードリーくらげ	藤田健二郎
和	東 上 田	田中 貞見
	田 沢	澤井 理沙
	大 川	窪田 耕一
	栗 林	細谷真弓美
	海 善 寺	福島 功
	曾 根	小野沢千尋
	東 深 井	渡辺 睦宏
	西 深 井	戸田みゆき
	西 入	横沢 栄一
	東 入	庄村美恵子
	日 向 が 丘	竜野 豊
	海 善 寺 北	保屋野 勲
	寺 坂	高野 昭恵
	陸	中山 貴之

地区名	区 名	委員長名
北御牧	上 八 重 原	荻原 政伊
	田 楽 平	飯島 則子
	中 八 重 原	岩下袈裟昭
	下 八 重 原	依田 直也
	芸 術 む ら	大石 淳子
	白 樺	佐藤 隆
	切 久 保	中山 一徳
	八 反 田	橘 正人
	本 下 之 城	小宮山岩夫
	田 之 尻	関 智恵子
	宮	小林 和樹
	畔 田	小林 和男
	御牧原南部	中村 明
	御牧原北部	水科 安雄
	布 下	篠根 茂美
	常 満	直井雄一郎
	島 川 原	渡辺 正喜
	大 日 向	内川 昇
北御牧	光 ケ 丘	滝澤 修吾
	羽 毛 山	小林 政勝
	牧 ケ 原	関 孝子

福祉運営委員とは??

福祉運営委員は、地域で悩みごとや困りごとを抱えている人に対して、見守り活動や声かけ等を通して早期に発見し、区や民生児童委員、行政や社協へ情報をつなげる「地域のアンテナ役」です。

また、いきいきサロン等を運営することで、地域の交流・コミュニケーションの場を提供しています。

まずは、地域の福祉運営委員会の活動を知ることから始めましょう!

コロナ禍の活動も一緒に考えています!



福祉運営委員さんの 日々の活動を確認しましょう!

見守り・声掛け

新聞たまってないかな??
カーテン開いているかな??
困りごと抱える人いないかな??

情報提供・情報共有

福祉の情報、必要な人に届いてる??
地域の困りごと、他の人も知ってる??

いきいきサロンの企画運営

近所の拠り所、いきいきサロンの開催!!



赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました。

令和2年度 募金結果

募金総額 6,410,744円

【戸別募金】5,944,875円

お寄せいただきました募金は県共募から配分を受け、東御市の地域福祉活動に活用させていただきます。

(単位：円)

区 名	募金額	区 名	募金額	区 名	募金額	区 名	募金額
加 沢	268,100	王 子 平	43,402	田 沢	149,800	下 八 重 原	160,200
常 田	424,567	滋野地区合計	1,047,016	大 川	80,653	白 樺	25,000
田 中	264,700	新 張	181,800	栗 林	92,810	切 久 保	43,550
県	173,799	出 場	82,700	海 善 寺	100,000	八 反 田	42,300
本 海 野	238,921	金 井	93,982	曾 根	146,223	本 下 之 城	45,000
西 海 野	114,337	新 屋	103,926	東 深 井	46,000	田 之 尻	25,500
白 鳥 台	87,600	東 町	157,500	西 深 井	22,000	宮	44,500
城 ノ 前	107,100	西 宮	146,000	西 入	24,000	畔 田	57,050
田中地区合計	1,679,124	姫 子 沢	20,000	東 入	12,000	御 牧 原 南 部	86,544
赤 岩	72,500	湯 の 丸	3,000	日 向 が 丘	25,000	御 牧 原 北 部	87,000
片 羽	102,289	滝 の 沢	7,000	海 善 寺 北	137,300	布 下	75,000
桜 井	211,110	祢 津 南	48,900	寺 坂	11,800	常 満	23,200
大 石	173,900	伊 勢 原	43,250	睦	19,200	島 川 原	52,660
中 屋 敷	88,100	奈 良 原	35,800	和地区合計	1,091,602	大 日 向	51,000
別 府	63,615	鞍 掛 自 治 区	9,900	上 八 重 原	92,600	光 ケ 丘	20,500
原 口	126,400	リードリーくらげ	31,000	田 楽 平	18,500	羽 毛 山	78,500
聖	19,000	祢津地区合計	964,758	中 八 重 原	82,650	牧 ケ 原	14,000
乙 女 平	146,700	東 上 田	224,816	芸 術 む ら	37,121	北御牧地区合計	1,162,375

【その他の募金】365,869円

田中小学校	2,235	北御牧小学校	7,710	役場職域	40,026	募 金 箱	23,209
祢津小学校	2,873	東部中学校	5,474	J A 職 域	5,600	街頭募金	138,919
和 小 学 校	10,823	北御牧中学校	6,789	社協職域	10,169	個人募金	13,949
滋野小学校	4,588	学校募金計	40,492	小 計	55,795	自 販 機	93,493
						そ の 他	12

【法人募金】100,000円

(順不同・敬称略)

法人名	所在地	法人名	所在地
(有)三峰工業	奈良原	(株)ビートレーディング	布下
湯の丸高原ホテル	湯の丸	ファシリティ・マネジ メント・サービス(株)	〃
(有)信州ファーム萩原	上八重原	(有)関自動車整備工場	大日向
(株)ハルディン	〃	農事組合法人 北御牧村味の研究会	〃
(有)森澤建業	〃	(有)エスケイプランニング	羽毛山
(株)鳴沢工務店	下八重原	(株)西入不動産 鑑定士事務所	〃
(株)八光建設	〃	(株)エイチ・エス	〃
(農法)武井種蓄場	切久保	(有)千曲化成	滋野
竹内工業(株)	田之尻	(株)竹花組	佐久市
(有)渡辺鉄工所	宮		
水科設備(有)	北部		

今年度ご協力をいただいた募金は令和3年度、以下の事業に活用させていただきます。

高齢者福祉事業

敬老・金婚祝、おせち料理訪問

障害者福祉事業

障がい者福祉のつどい、障がい者とボランティアの交流、障がい者社会参加支援事業

児童・青少年活動

福祉協力校補助金

母子・父子活動

ひとり親家庭交流支援事業

福祉育成援助活動

社会福祉大会、福祉講演会、広報活動、ボランティア活動助成、多世代サロン

「コロナ禍だから伝えたい」

新型コロナウイルスが日常となった今、私たちの生活スタイルは、それに合わせるように変化しました。新たなスタイルに慣れるのは大変ですが、反面、新たな発見も多い1年だったのではないのでしょうか。

ここでは、皆さんがコロナ禍だからこそ発見したエピソードを紹介します。



「コロナ禍の新発見」

「ま」このゲーム」

去年はコロナでの休校もあり、自宅で小学生の孫と過ごす時間が多かったです。

いま孫はゲームに夢中で、特に動物を育てたり、釣りをしたりできるゲームが好きなのです。私には「この子が友達!」とか「でっかい魚釣れた!」なんて教えてくれたりしていました。

私自身はゲームに馴染みはないですが、孫が笑ったり悔しがったりしながら声をかけ、てくる事が面白くなっていきます。これが私なりのゲームの楽しみ方なのかと感じながら、コロナの終息を願っているところです。

(70代・女性)



「コロナ禍の健康づくり」



元々、健康づくりに興味はあったのですが、「いざ」と踏み出せずにいました。昨年、「自宅時間を利用して運動をはじめた」という声を多く聞き、「自分も」という気持ちになりました。

手始めにウォーキングを行うことにして、準備体操にはラジオ体操を第二まで行うことに。しかし、いざ実践すると、ラジオ体操は子どもの頃と違い、今ではしっかりと息切れすることに気づきました。自分の実力を知れる、というスタートが切れたかな...と開き直った一日でした。

(20代・女性)

コロナ禍のエピソードを募集します

あなたが「コロナ禍だからこそ」経験できたエピソードを教えてくださいませんか?

- ・ 自宅時間で難しい料理に挑戦!
- ・ なかなか会えない人へ手紙を送った。など...

内容に〔タイトルとエピソード、必要に応じて氏名、性別、年代、連絡先〕を。

・ 電話 ☎ 62-4455

・ 郵送 〒389-0502 東御市鞍掛197

社会福祉協議会 地域福祉係宛

・ メール ✉ info@tomisyakyo.or.jp

※内容は場合により修正・短縮する場合があります。

ふくし川柳

(敬称略・順不同)

- 春を知り やあこんにちわと 福寿草(小川原富貴子)
- 初蹴りの 孫に付き合う 大家族 (高藤紫咲幸)
- 如月が 過ぎて桜の 夢を見る (真田丸)

〔投句先〕 社会福祉協議会 地域福祉係

〒389-0502 東御市鞍掛197

☎ 62-4455 FAX 64-56655

✉ info@tomisyakyo.or.jp

〔方法〕 ハガキ・FAX・メールのいずれかにて。

内容は「掲載名(ペンネーム可)・連絡先・句」

〔その他〕 複数投句の場合は、選択の上、掲載します。記事の状況により、全ての投句を掲載できない場合があります。

コロナ禍での善意 社協と郵便局がつなげる活動

ー東御市内6郵便局で「フードポスト」・社協と「フードサポート事業」で協定締結ー

郵便局のネットワークを活用して地域貢献をひと、市内の郵便局6局（北御牧、祢津、東御、和、滋野、本海野）は3月24日（水）まで、各局内で「フードポスト」を実施しています。

家庭や職場で眠っていたり消費しきれず余っている食料品を、郵便局が拠点となって集める活動で、寄付された食料品は社協に提供して食料支援が必要な人のために役立てるもの。

社協は昨年5月から、生活の苦しい家庭に食料支援を行う「フードサポートとうみの縁（えん）」を推進しており、昨年11月には日本郵便㈱の市内郵便局（6局）とフードサポート事業協力に関する協定を締結。これにより郵便局は寄付される食料を受け入れるボックスの設置場所を提供し、集まった食料を市社協に渡すことで事業に協力しています。

社協は「フードサポートとうみの縁（えん）」を3月末まで再延長、各郵便局では期間内の受付時間を平日の午前9時～午後5時として実施。フードポストで受け付ける食料品は、賞味期限が1カ月以上で常温保存できる未開封品（食品表示があるもの）とし、米（白米）や缶詰、瓶詰、乾麺、海苔、ふりかけ、お菓子、カップ麺、調味料などの食品を受け付けています。

なお「フードサポートとうみの縁（えん）」で食料支援が必要な人は、月～金曜の午前9時～午後5時、市総合福祉センター1階・社協窓口へ。食料を入れるものを持参し、「なるべく電話での予約を」。予約・問い合わせは社協TEL 75 - 0222へ。



▲本海野郵便局「フードポスト」のボックスと宮下公彰局長

【とうみの縁の現場から】



▲とうみの縁をご利用いただいている様子

社協では、とうみの縁での「食料支援」だけではなく、就労や家計など、総合的な支援体制を整えています。

利用される家庭が、その後も継続して生活を営めるような支援を行っています。



担当者から

とうみの縁は、コロナ禍において、命をつなぐための最前線の事業として開始しました。利用者は、外国籍の方、母子家庭の方、小さなお子さんがいる世帯など様々です。

食料を提供する中で、生活上の相談をお受けすることも多くあります。お困りの事があれば、まずは気軽に相談いただければと思います。

「フードサポートとうみの縁^{えん}」（食料支援事業）へ寄付をありがとうございます（1月、2月受け付け分）

- ・上田市内郵便局様 ・赤羽伊久夫様 ・JA信州うえだ女性部東部支会のぞみ様 ・縣ひろ子様
- ・佐藤美菜子様 ・土屋和正様 ・竹内不二夫様 ・丸山和躬様 ・東御ワインチャペル様 ・小野章子様
- ・他57名様

まいさぽ便り

生活や就労の総合的な相談窓口

コロナ禍で生活に困っている方の相談が例年と比較し、倍増しています。相談することで改善した事例を紹介します。



相談前の状態

世帯：65歳以上の夫婦
○年金だけでは生活が難しい。
○派遣会社から雇止めになる。

相談の支援内容

○食料支援、○特例貸付
○就労支援（緊急就労支援事業*で就労決定）

支援後

○働き先がみつかり、経済的な困りごとが解消し、精神的にも元気になった。

*緊急就労支援事業…雇用開始から2カ月間の賃金を、
県社会福祉協議会と東御市が助成

相談は、本人・
家族・近所
どなたでもOKです



生活就労支援センター まいさぽ東御

受付日時 月～金曜日 午前8時30分～午後5時

場 所 東御市鞍掛197 東御市総合福祉センター内 東御市社会福祉協議会

電 話 0268-75-0222（直通） メール maisapo@tomisyakyo.or.jp

とうみ男の遊び塾～男の万華鏡塾～

1月20日、総合福祉センターでとうみ男の遊び塾が開催されました。この日は「男の万華鏡塾」。はじめに万華鏡の歴史を学び、続いて筒や色紙、ビーズ等を使って思い思いに万華鏡を作り上げました。参加者は「万華鏡は中身によって全く見え方が違う。『こだわりの一品』が出来ました」と満足そうでした。



月間スナップ

男性の料理サロン～中華料理づくり～



2月13日、総合福祉センターで男性の料理サロンが開催されました。この日は今年度の最終回。「エビチリ」や「豆乳坦々スープ」などを調理。コロナ禍の配慮として、完成した料理はテイクアウトし、各自宅で楽しみました。参加者は「家でも家事の時間が増えた。来年度もぜひ参加したい」と話しました。



ボランティアセンターから版

ボランティアセンターの紹介

社協では「ボランティアセンター」を運営し、市内のボランティアをサポートしています！

ボラセンの仕事（部）

1. ボランティアの登録を受け付けています！
2. ボランティアに関する相談を受け付けています！
3. ボランティアの情報を皆さんにお届けします！
4. ボランティアに関する講座や研修会を開催します！
5. 福祉教育や福祉体験を行い、福祉の啓発を進めます！



まずはご相談ください!!

地域でボランティア活動を行っている皆さん!! “ボランティア連絡協議会”はご存知ですか??

ボラ連に参加すると..?



▲ 他市町村ボラ連との交流会の様子

★ボランティアグループ助成金が受け取れます!

年間15,000円の助成金の申請対象になります（団体のみ）

★各種行事に参加できます!

ふれあいフェスティバル（ボランティア交流イベント）
自然を楽しむ会（障がいのある皆さんとの交流）

★研修会への参加ができます!

ボランティアに関する研修などを開催します。

★課題や悩みを共有できます!

ボランティアが集う場面では、情報交換も行えます。

ボランティア活動を行う方は、 ぜひ「ボランティア活動保険」へご加入ください!

ボランティア活動保険は、ボランティア活動中の事故に対する備えとして全国で約 200 万人が加入しています。

安心してボランティア活動ができるように入会することをお勧めします。

- ◆対象者 社会福祉協議会に登録しているボランティア（個人・団体）ほか
（※保険加入時、同時にボランティア登録を行うことも可能です）
- ◆補償内容 ボランティア活動中のケガに対する通院、入院、手術、死亡、賠償責任の補償
- ◆補償期間 2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日
（随時受け付けますが、補償は加入の翌日から 3 月 31 日までとなります）
- ◆掛け金 活動内容に合わせ、負担額 300 円～710 円のプランが用意されています。
- ◆問い合わせ・申し込み 東御市社会福祉協議会 地域福祉係 ☎62-4455



善意をありがとうございます

(1月、2月受け付け分・順不同)

匿名様 金18,601円
 匿名様 洗濯用洗剤5本
 匿名様 洗濯用洗剤7本
 匿名様 タオル
 匿名様 カレンダー
 丸山和躬様 マスク4袋
 匿名様 商品券11,000円
 平間純子様 衣類
 匿名様 尿取りパット6袋
 上小労働者福祉協議会長野県労働金庫上田支店様
 商品券10,000円
 匿名様 金10,000円
 深井公秀様 金30,000円
 JA信州うえだ女性部東部支会のぞみ様
 食料品
 匿名様 金10,000円
 匿名様 金1,000,000円
 ミマキ電子部品株式会社様 金400,000円
 土屋志津代様 マスク、ボールペン
 匿名様 金3,000,000円
 匿名様 金42,847円
 匿名様 オムツ1袋、紙パンツ2袋

ウエスをありがとうございます

(1月、2月受け付け分)

花づなの会様

社協のケアマネジャーよりみなさまへ あったかいぞだより

No.43

日に日に春の暖かさを感じられるようになりました。

2000年に介護保険制度が始まりましたが、2021年度、介護保険制度改正・介護報酬改定に向けた準備が進められています。

今回は、新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、団塊世代の全てが75歳以上となる2025年や、少子高齢化が進展し、65歳以上の高齢者の人口がピークになる2040年も見据えながら検討されています。

今後の動向に注意して皆様にお知らせしていきたいと思います。



協力に感謝申し上げます

2月5日、社会福祉協議会に新たな自動車が配備されました。この車両は、市民の方より「社協の事業で活用してほしい」として賜った寄付により購入されたもので、市委託事業として実施する「ミニデイサービス」の送迎用車両として活用されます。

社協の事業は、市民の皆さまのご理解とご協力により成り立っています。日ごろからのご協力に改めて感謝を申し上げます。



▲引渡式で業者から納入されました。(写真うしろが) 配備された「ノア」



▲JA信州うえだ女性部東部支会のぞみ様から



▲ミマキ電子部品株式会社様から

●編集後記

寒い2月に“春”を思わせる暖かな陽気の日がありました。思い立って“つぼみ”の花のプランターを戸外に出し、太陽の光をサンサンと浴びたところ、夕方には色とりどりの花が咲き始めました。あらためて陽の光そして自然の力強さを感じました。春も間近です。自然をゆったり楽しめる、そんな日々になることを願っています。

重原 君江